

## 平成19年度第3回豊田市商業委員会会議録

【日 時】 平成20年1月29日(火) 午後1時30分～4時00分

【場 所】 豊田市役所 南庁舎5階 南53会議室

【出席者】 委員  
加藤 勇夫〔愛知学院大学商学部教授〕  
河木 照雄〔豊田商工会議所副会頭〕  
杉戸 厚吉〔社団法人地域問題研究所計画部長〕  
浅井 良隆〔コンパニオン・オフィス アット・ドリーム代表〕  
澤田 恵美子〔豊田市消費者グループ連絡会会長〕  
松井 栄子〔三州足助公社〕  
福岡 朋子〔愛知教育大学 学生〕  
事務局  
近藤 伴次〔豊田市産業部調整監〕  
鈴木 辰吉〔豊田市産業部商工担当専門監〕  
宮川 龍也〔豊田市産業部商業観光課長〕  
成瀬 剛史〔豊田市産業部商業観光課係長〕  
小林 洋明〔豊田市産業部商業観光課主査〕  
安川 佳孝〔豊田市産業部商業観光課主事〕  
傍聴者  
なし

- 【次第】
- 1 開 会
  - 2 会議の公開及び本日の審議スケジュールについて
  - 3 委員長あいさつ
  - 4 報告事項
    - (1) 商店街活性化計画の進捗状況について  
・藤岡商工会 (資料1)
    - (2) 商店街活性化計画の進捗状況について  
・一番街商店街振興組合 (資料2)
  - 5 審議事項
    - (1) 商店街活性化計画について  
・足助商工会 (資料3)
  - 6 その他
  - 7 閉 会

## 【会議録（要約表記）】

### 1 開会

事務局より、平成19年度第3回豊田市商業振興委員会の開会の宣言が行われた。

### 2 会議の公開及び本日の審議スケジュールについて

事務局より、資料の確認、傍聴人数、審議スケジュールについて説明が行われた。

### 3 委員長あいさつ

加藤委員長よりあいさつが行われた。

### 4 報告事項

#### (1) 商店街活性化計画の進捗状況について

##### ・藤岡商工会

藤岡商工会 山内氏、塚本氏より資料1「豊田市藤岡地区商店活性化計画 概要版」に基づき内容説明を行い、認定審議へ挙げる際の参考とする意見を委員からいただいた。

#### 【主な質疑応答】

委員 藤岡地区の人口、商店数は？

藤岡 人口約2万人。商工会員は370名。商店は180戸で藤岡地区に散在している。

委員 「自立した経済圏の確立」は急務の課題となるか？ポイントカードシステムのポイントもまちづくりに参加してもらおうとつけるなどテーマを設定することも考えてみては。商標登録もただ登録するのではなく、あり方を整理すること。

委員 「自立した経済圏の確立」は最終的に行き着くところになるのでは。

委員 藤岡地区は商店が点在しているため、活性化計画作りが難しいと思う。核となるのがポイントカード、藤のイメージということになると思う。イベントが藤の季節のみで、しかも商店から離れた場所で行われているため、買物、食事は豊田に戻ってきてしまうのが現状。惹きつける何かがあることができると良いと思う。また日用品を買う地域の人を惹きつけるためのポイントカードを上手に活用してほしい。

藤岡 藤の咲く時期は非常に短い。藤の回廊は藤岡地区の東部になるが、藤岡全体で藤に関連付けてイメージカラーは紫とし、一店逸品の商品開発で紫色を使うといった色の発信などの取り組みを考えている。藤岡のどこに行っても藤のイメージが湧くような取り組みをしていきたい。

委員 合併町村の中で唯一人口が増えた。地域住民の生活を保障するための商業施設をどう存続させるか。地域集落の生活圏を確立するための商業圏を確立するという部分を加えてみてはどうか。観光はプラスアルファで

付加し、日常と非日常の商業のあり方を整理した方が良いのでは。藤岡が地域商業のあり様のモデルを作っていたら良いと思う。

**委員** 生活交通バスの利用でポイントが貯まるということだが、ルートは？バスの存在をもっとPRすべき。

**藤岡** 石畳（北部）から市役所藤岡支所を經由し、西中山へのルートと川口（東部）から市役所藤岡支所を經由し、西中山へのルートの2本。生活交通バスで山間地域から西中山の大型店へ買物に行ってしまう、山間地域が潤っていないため、生活交通バスのあり方、ルートに対しても意見して行きたい。

**委員** 「自立した経済圏の確立」は最終的な目標になると思う。藤のイメージを植えつけるには、地域の人に藤の関係品をつけてもらう等の取り組みも必要かと思う。商店街の連続性を作るのは難しいのでは？

**藤岡** 店舗の連続性ではなく、藤のイメージの連続性のことである。

**委員** 藤の回廊は藤の咲く時期は賑わうが、藤の咲かない時期にも足を運んでもらえる場所をPRしたり、きっかけを作ってほしい。足助も中馬のお雛さんなどで街中をPRし、紅葉の季節にも香嵐渓だけでなく街中へ来る方が増えている。知ってもらえることが大事。

**委員** 全体を見るとポイントカードが一番のポイント。藤のイメージの拠点を置かれるならば、万葉集の中の藤を題材にした句を利用するなどもおもしろいと思う。来てもらい、藤岡を知ってもらえることが大事。

**事務局** 皆さんのアドバイスを参考にすれば良いものができると思う。

**委員** ポイントカードシステムを商業者だけで維持するのは難しい。まちづくりのためのポイントカードだということを地域住民に知ってもらい、ポイントカード加盟店はまちづくりに貢献しているとして地域で守っていくことが必要ではないか。

## （2）商店街活性化計画の進捗状況について

### ・一番街商店街振興組合

一番街商店街振興組合 本多代表理事、河原会計、鈴木理事より資料2「一番街商店街振興組生活活性化計画」に基づき内容説明を行い、認定審議へ挙げる際の参考とする意見を委員からいただいた。

### 【主な質疑応答】

**委員** 夜の活性化と女性が歩くというのはギャップがないか？

**一番街** 夜は道を選択して歩く。全体がにぎやかで明るければ、女性客も安心して歩け、通行量が増えるのではないか。

**委員** 駐車場があれば潤うのか？本当に行きたい店ならばフリーパーキングに停めても来るのでは？店舗の魅力を上げることが第一では？

**一番街** 安心して駐車できるスペースがあれば確実に潤うと考えている。現在は、横付け車両の率が高く、フリーパーキングを知っていても横付けする人が多いと感じている。1、2品買う人は近いほど多くなると思う。貸し店舗にした場合の従業員はどこに停めるのかも考える必要がある。店舗の魅力アップに関しても当然行っていくが、魅力がアップするほど商店街アンケートの駐車場の必要性が上がると感じている。

**委員** 通過交通がネックにはなっていないか？

- 一番街 通過交通が多いことはチャンスだと思っている。
- 委員 商店街ではなく、個店ごとが独立した感じがする。連携し、一体感が出るものがほしい。イメージが大事。
- 一番街 個々の商店が儲けることでやってきた。お客さんは何商店街に来ているかのイメージがない。一番街の日、お店拝見ツアー等で打開したい。
- 委員 後継者マッチングシステムはどのようなシステムか？
- 一番街 原則大家さんには住んでもらいながら貸す。部分貸しは水道、電気、ガス等を分けなければならないし、駐車場は空け渡してくれない。そこまで含めて紹介し、入ってもらうシステムを作る必要がある。貸し渋りが多い。気持ちよく貸せるシステムさえ作れば上手くいくと思う。
- 委員 世代交代を上手に行っていくシステムも必要だと思う。
- 委員 市の内容、街路灯のデザイン、空き店舗に入れる業種など、それぞれの内容がつながるよう方向性を明確にしておくことが大事。そうすることでより事業効果が高くなる。
- 委員 連携してひとつのショッピングモールを目指すことは大変意義があると思う。駐車場について、商売をしていない周辺の方を当たられてはどうか？駐車場を作ることで、周りの商店街に与える影響も大きい。歩く人に楽しい商店街にするのか、車で来る人に利用しやすい商店街を目指していくのか、整理をしておいていただきたい。
- 委員 将来方向を見定めながら段階的に活性化計画を進めていただければと思う。
- 事務局 一番街は、コモスクエアのマンションオープン、竹生線の整備など恵まれた状況になってきているので、ぜひがんばっていただきたい。

## 5 審議事項

### (1) 商店街活性化計画の進捗状況について

#### ・足助商工会

足助商工会活性化計画作業部会 佐久間作業部会長、兼子作業部会長、計画策定委員事務局 柴田氏より、資料3「足助商店街活性化計画」に基づき内容説明を行い、認定の際に参考とする意見を委員からいただいた。

#### 【質疑応答】

- 委員 観光と商業の結びつきが課題。香嵐渓はどれくらい人が来るのか？
- 足助 統計では130万人。全国2位である。
- 委員 なかなか観光と商業が結びつかない。外からの視点、ニーズに合わせたものを検討していくべき。新しいものを作ることは大事だが、足助の魅力を壊さないよう、それに合った整備を。それが結果的に商業に結びつけるように。お客さんが来る装置はあるのでそれを活かし切れていなかった。それを活かすように。組織作りが大事。効果が上がると思う。
- 委員 組織がしっかりしており、内容を実現できるのでないか。ぜひ事業を進めてほしい。古いものを壊さず、活用し、足助らしいまちづくりをしていただきたい。

**委員** 足助らしさを壊さずに住んでいる人のことも考えて計画を進めてほしい。

**委員** 中央商店街と足助観光協会（三州足助公社）の組織の関わり方を明確に打ち出していただけると良いと思う。商店街のノウハウ、観光協会のノウハウを上手にコーディネートしてほしい。

**足助** 3月に審議していただく予定の活性化推進交付金事業計画で足助観光協会（三州足助公社）とタイアップしていく予定である。

**事務局** 無理の無い実現可能な計画になっており成果が期待できると思う。足助の「金が無ければ知恵を出せ」の精神を忘れずに、補助金頼りにならないよう、古き良きものを大切にしながらまちづくりをしていくという足助らしさを出して進めてほしい。

**委員** 香嵐溪に来る観光客を商店街へ引き寄せる努力もしていただきたい。委員会としては認定を認める。

## 6 閉会

**事務局** 長時間に渡り、活発にご審議をいただきありがとうございました。各計画にご意見をいただいたので、良いものが出来てくると思います。商業のターゲットになる顧客を捕まえるのが難しい、この自動車社会の中で、どのような商店街を作っていくか、今後もいろいろご指導いただきたいと思います。本日はありがとうございました。

今後の予定

第4回商業振興委員会開催予定日 平成20年3月13日（木）

以上